



放課後デイサービスまごころライト

新学期&新体制スタート

4月よりライトに正野美香・男鹿友紀・山中公太の3人と現在のスタッフとで支援をさせて頂きます。4月は環境の変化が大きい時期です。支援者の顔ぶれも変わりどうなるかと心配していましたが、新ライトの子どもたちもいつもと変わりなく、会話やスタッフを交えてのゲームをして盛り上がり、賑やかです。笑顔で集団参加が出来ています。

それぞれの特性を生かした支援や個別に対応してきた支援は変わらず、落ち着いて過ごすことを継続して目指していきます。どうぞ温かく見守りをお願いいたします。



放課後デイサービスまごころレフト



はじめましての方もいらっしゃると思うので自己紹介です(^^♪

4月より、まごころレフト担当になりました、清水昌美です。宜しくお願い致します。

障害福祉の仕事を始め、10年目になります。脳の病気を持って産まれた長男の、家庭内療育の為に発達支援を学びました。

パニック、自傷、他害あり、全身で向き合ってきた育児経験を活かせる場を、与えて頂いた事に感謝しています。

『みんなちがってみんないい』

過去にも未来にもたった一つしかない、この尊い命をどう生きるか、、、それが人間学です。一人一人の発達に合わせ、一人一人の気持ちに寄り添い、生き辛さを改善するお手伝いをさせて頂きます。

心と身体と呼吸を整えて、お子様も、お母様もそしてスタッフも、皆で一緒に発達していきましょう！どうぞよろしくお願いたします。

デイサービス通信



元気いっぱい笑顔いっぱい

今年に入って、徐々にご利用者さんが増えて、月・水・金はお陰様で定員達成、コロナを吹き飛ばすような笑顔と元気を毎日頂いております。

4/5(月)は一宮市内を東京オリンピック聖火リレーのランナーが走り巡りました。ちょうどまごころ前の九品寺公園の沿道がゴール！デイのフロアでは生中継の様子を観ようとテレビの準備をしていました。ところが、「もう一生見られんから、自分の目で、生で見ないといかん！」とおっしゃるIさん。「まあ、わしゃテレビで見るでええわ」とおっしゃっていた他の方も、沿道に人が集まり太鼓囃子が聞こえてくると、「ちょっと見てくるかね」と外に出て行かれました。

何やかやと興味が尽きないお元気なご利用者さんです。



つぶやき

マイナンバーカードカードについて

マイナンバーとマイナンバーカードとは区別してください。すでに国民1人1人についての番号は付番されています。それをカードで証明するのがマイナンバーカードです。その制度のプラス面とイヤな面について考えてみます。

・プラス面

- 1) 今のところ、マイナンバー制度は税と社会保険と災害に限定されています。それをもっと幅広く利用したらどうでしょう。例えば去年の定額給付金についても、マイナンバーに銀行口座を登録しておけば簡単にできたでしょう。
- 2) ポータル制度  
保険会社、病院等からデータを税務署へ送る。確定申告する場合、そのデータを利用すれば良く、郵送の手間を省くことができる。
- 3) 今年の8月から試行されますが、マイナンバーカードで健康保険証がわりになります。またマイナンバーカードがあれば「お薬手帖」もなくなるのでは。更にはパスポート、運転免許証への利用が予定されている。

・イヤな面

- 1) 5年くらい後に全ての預金にマイナンバーを登録しなくてはならないと予測します。そうすると、今は所得だけが自己負担割合の基準になっているが、そこに金融資産の金額も使用されると予想します。例えば預金が〇〇〇万円あるから、3割負担になるというのが考えられます。
- 2) 相続が発生した場合、預金の把握がとても容易になる。



鹿島 兼一

ケアマネジャーの目

ヤングケアラーの実態中学生5.7%「家族の世話」兄弟や家族の世話をする18歳未満の子供「ヤングケアラー」の支援に向けた厚生労働省と文部科学省による初の実態調査で、「世話をしている家族がいる」とした中学生が5.7%(約17人に1人)、高校生が4.1%(約24人に1人)いることが分かった。2~3割が父母を、6割が兄弟を世話し、理由は身体障がい者、幼い頃からが多かった。ヤングケアラーは学業や進路への影響だけでなく、同世代からの孤立を招くと指摘されている。特に、定時制、通信制高校生は、全日制の2倍超となり、深刻な状況が浮かんた。そしてその6割超が誰にも相談したことがなく、適切な支援につながっていない可能性がある。両省は、5月に相談窓口拡充などの支援策をまとめる。私たちも、ヤングケアラーに気づいたらぜひ声をかけ、支援につなげて行きましょう。

~知っておきたいヘルパーの知識~

「お赤飯」お祝いでなぜたべるの?

お祝い事がある時、まごころのデイサービスでも、決まって「お赤飯」が用意されます。

「お赤飯」とは、もち米に赤く色づけするために小豆を入れて蒸して作るご飯をいいます。なぜ、赤い色のついたお米を炊いてお祝いしてきたのでしょうか?

それは日本古来の風習に起源があったようです。赤い色は邪気を払うパワーがあると信じられてきました。それには幸せになってほしいという願いがあったのでしょ。

みなさんのお家でも、入学祝い、誕生日、就職祝い、還暦祝い、喜寿祝いと幾度となく、「お赤飯」でお祝いされた事でしょう。

一方凶事となる、縁起の悪い事が起きた時にも、お赤飯を食べることで、「縁起お越し」をするという風習もあるようです。

今夜あたり、お赤飯を食卓にのせてみてはいかがでしょう。

